

**2023年3月期**  
**第2四半期 決算説明資料〔IFRS〕**  
 (2022年4月－2022年9月)

株式会社 LIXIL  
 2022年10月31日

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

**2016年3月期よりIFRSに移行しています**  
**各段階利益の名称の違いは以下の通りです**

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	<b>継続事業</b>
売上高	<b>売上収益</b>
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
<b>営業利益</b>	<b>事業利益（CE）</b>
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	<b>税引前利益</b>
	継続事業からの当期利益
	<b>非継続事業</b>
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	<b>親会社の所有者に帰属する当期利益</b>
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

## 本日のポイント

- 2023年3月期 上期実績は前年同期比、増収減益
- 想定以上の急激な円安の進行、資材・部品価格の追加上昇、物流混乱によるコスト増加により原価が急激に悪化
- 米国と中国の経済減速も踏まえ、通期業績予想を修正
- 配当予想に変更なし（中間配当は45円を決議）

## 2023年3月期 上期業績の総括と今後の見通し

- 価格改定<sup>(1)</sup>は順調に進捗
- 困難な事業環境下において製品の安定供給に努め増収するも、想定以上の急激な円安進行と資材価格の上昇加速、物流コスト上昇影響により減益
- サプライチェーンの寸断により、特に欧州では上期において商品の供給制約受けるも、ディストリビューション・センターの立ち上げ<sup>(2)</sup>により、3Q以降で解消を見込む

LIXIL

(1) 2022年6月23日公表 プレスリリース「建材・設備機器のメーカー希望小売価格の一部改定について」

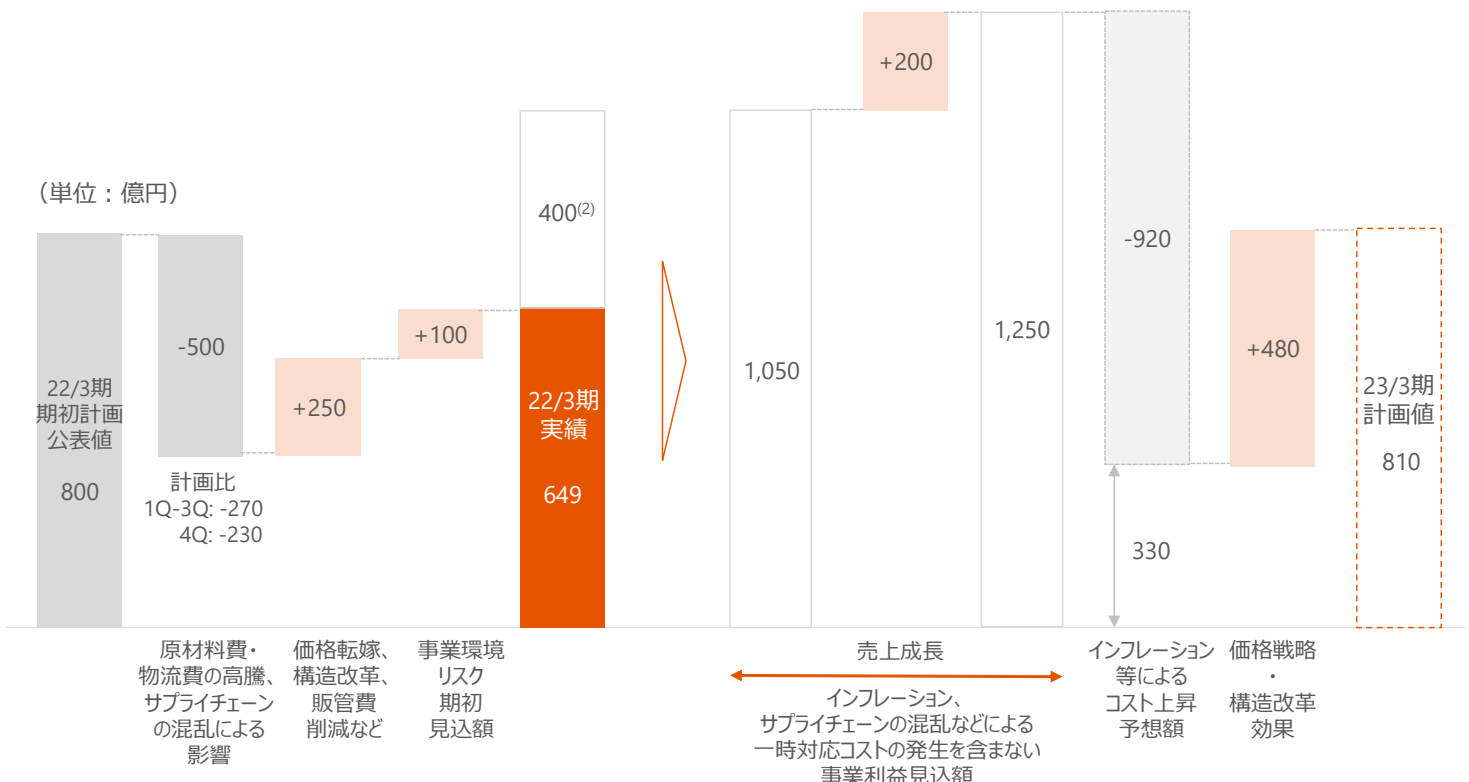
(2) 2023年3月期 第1四半期 決算説明資料事業関連 ESG関連トピックス「サプライチェーンの寸断と物流費の上昇への対応」p.26 ご参照

2

## 本日のポイント

2022年3月期 4Q資料再掲

## 2023年3月期見通しの考え方（期初計画概算値）<sup>(1)</sup>



LIXIL

(1) マネジメントベース

(2) 主として、発生を抑制することが可能なコスト、及び、発生が急激であったため、対応策の効果発現時期との間のタイムラグにより生じたコスト

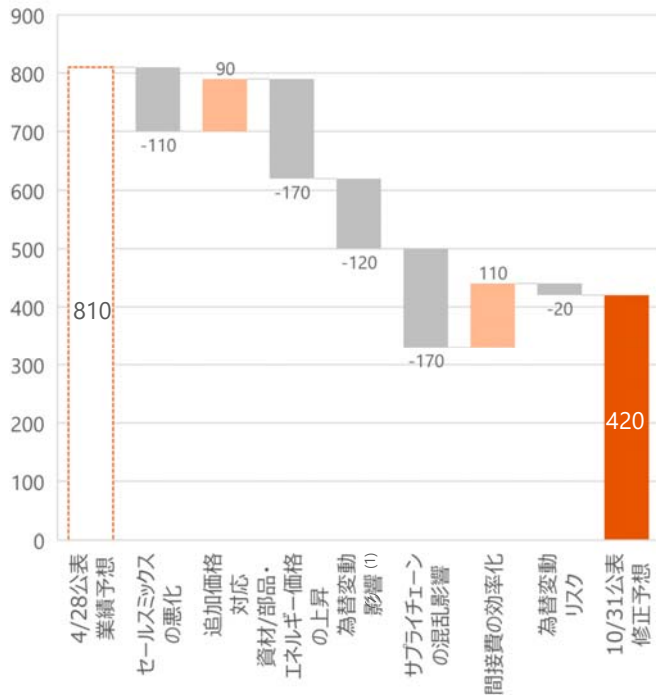
3

## 本日のポイント

### 2023年3月期 通期修正計画（概算値）

#### 想定以上の急激な円安の進行、資材・部品価格の上昇、セールスマックス悪化を反映

(単位：億円)



#### ■ 主な修正内容

##### ・ 資材/部品・エネルギー価格の上昇

足元の調達状況、最新の取引価格に基づく調達コストを反映

##### ・ 為替変動影響

4/28公表の期初計画から、米ドルベースでの地金（アルミ・銅）の購入単価の前提に変更なし。ただし、円安進行影響（決済金額の上昇：当初115円/\$→修正後150円/\$）を織り込む

##### ・ 為替変動リスク

下期に更なる円安が進行した場合（150円/\$→160円/\$）のコスト上昇による下振れリスク（-20億円）

#### 為替変動が事業利益に与える影響について

主要通貨：米ドル、ユーロ

従来、当社事業構成において、事業利益に対し影響が小さかった為替変動が、主として以下を背景に利益押し下げ要因に

- ・ **対米ドル**：① 米国での利益圧縮による為替効果の縮小と② 地金の購入決済額、輸入資材・部品購入額の上昇
- ・ **対ユーロ**：対米ドルに比して上昇幅が小さいことによる、利益の為替換算効果の縮小

LIXIL (1) 主として、LMEより調達する地金の購入代金の決済

4

## 本日のポイント

### 業績予想の修正：事業環境と見通し

#### 全社

- ・ 急激な円安の進行、想定外の資材・部品高騰による原価上昇に対し、下期の価格改定に追加施策を実施し、影響の緩和を図る
- ・ 過去2年間における急激な事業環境変化に対して今期中に対応し、来期の業績改善に向け備える

#### 日本

- ・ **新築**：資材価格等の上昇による着工への影響を注視
- ・ **リフォーム**：エネルギー価格の上昇と政府政策対応により、窓を中心とした断熱商品需要は強く、12月以降の需要増を見込む

#### 海外

- ・ **欧州、中東、アフリカ地域**：欧州はエネルギー価格等の上昇、金利の引き上げによる景気後退懸念あるも、好調な受注とサプライチェーン体制の安定化を通じて、成長機会を取り込む
- ・ **北米**：各チャネルの在庫調整は10月で収束を見込む。ただし、金利上昇により、本格的な需要回復は来年度を見込む
- ・ **中国**：不動産市況の低迷により、需要は上期同様の低成長を見込む
- ・ **アジア太平洋地域**：経済活動の回復継続を見込む

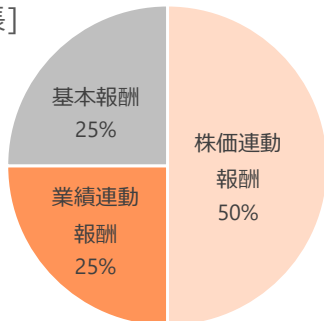
## 本日のポイント

### 役員報酬について

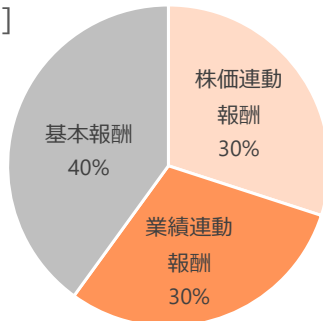
執行役の役員報酬総額のうち25%～30%にあたる業績連動報酬は、本日公表の通期修正予想どおりの利益計上の場合、達成目標の下限を下回るため、全額支給されない見込み<sup>(1)</sup>。

なお、業績連動報酬の単年の業績目標項目の構成はROIC（40%）、事業利益（30%）、当期利益（30%）にて設定

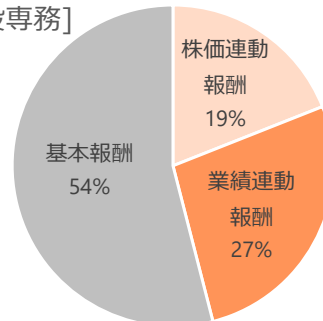
[社長]



[副社長]



[執行役専務]



業績目標達成度	支給率
50%未満の場合	0%
50%以上100%未満の場合	業績目標達成度と同じ
100%以上150%未満の場合	{(業績目標達成度-100)×2+100}%
150%以上の場合	200%

LIXIL (1) なお、業績連動報酬の支給については、報酬委員会の審議を経て決定されます。

6

## 本日のポイント

### 脱炭素化・エネルギー価格上昇を背景としたサステナビリティ関連商材の需要の高まりを捉え、成長に向けた取り組みを推進

#### 外部環境の変化

- 環境問題の顕在化
- エネルギー危機・価格の高騰

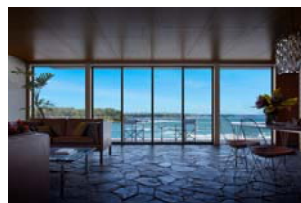
#### 新たな需要を創出

- 日本国内における環境施策・官民連携の強化<sup>(1)</sup>  
(家庭部門でのエネルギー消費の削減)
- 消費行動の変化
  - 環境問題への関心の高まり
  - エシカル消費の認知向上

#### 潮流を捉えた商品群の強化 (一部製品・サービス例)

##### 住宅の高性能化 (省エネニーズへの対応)

開口部からの熱の放出抑制



断熱性の高い高性能窓

家庭での太陽光発電普及促進



「建て得シリーズ」<sup>(2)</sup>

##### 環境配慮型製品の拡充 (新たなニーズへの対応)

節水・節湯と新たな入浴体験を実現



「SHIN-ON」



「ボディハグシャワー」

再資源化困難な廃プラスチックのリサイクル実現



「レビア」

天然資源の使用削減



Cradle to Cradle®

LIXIL (1) LIXILは「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」官民連携協議会（2022年10月25日発足）に参画  
2022年10月28日 閣議決定 [https://www5.cao.go.jp/keizai1/keizaitaisaku/2022-2/20221028\\_taisaku\\_gaiyo.pdf](https://www5.cao.go.jp/keizai1/keizaitaisaku/2022-2/20221028_taisaku_gaiyo.pdf)

(2) 指定のLIXIL製品を採用されたお客さま向けに、少ない初期負担で太陽光発電を導入できるサービス

7

## 2023年3月期 第2四半期 決算ハイライト

### 前年同期比で増収減益

#### ■ 売上収益 7,327億円、前年同期比 5%増

- 2Q3ヵ月：国内 +2%、海外 +14%（為替影響除く、-0.5%）
- 2Q6ヵ月：国内 +1%、海外 +13%（為替影響除く、+0.4%）

#### ■ 事業利益 62億円、前年同期比 311億円減

- 2Q3ヵ月：国内 -95億円、海外 -60億円、連結調整/他 +5億円
- 2Q6ヵ月：国内 -168億円、海外 -159億円、連結調整/他 +16億円

#### ■ 最終四半期利益<sup>(1)</sup> 37億円、前年同期比 220億円減

- 事業利益の減少を主因として減益

LIXIL (1) 最終四半期利益=親会社の所有者に帰属する四半期利益

8

## 2023年3月期 第2四半期 連結業績結果

(億円)	上期 6ヵ月				第2四半期 3ヵ月		
	22/3期	23/3期	前年同期比	%	23/3期	前年同期比	%
売上収益	6,962	7,327	+364	+5.2%	3,724	+219	+6.3%
売上総利益	2,442	2,293	-149	-6.1%	1,129	-63	-5.3%
(%)	35.1%	31.3%	-3.8pt	-	30.3%	-3.7pt	-
販管費	2,069	2,231	+162	+7.8%	1,137	+87	+8.3%
事業利益 <sup>(1)</sup>	373	62	-311	-83.5%	-8	-150	-
(%)	5.4%	0.8%	-4.5pt	-	-0.2%	-	-
非継続事業を含む 最終四半期利益 <sup>(2)</sup>	257	37	-220	-85.6%	-20	-109	-
EPS (円)	88.46	12.85	-75.61	-85.5%	-7.04	-37.59	-
EBITDA <sup>(3)</sup>	774	464	-310	-40.0%	195	-148	-43.2%
(%)	11.1%	6.3%	-4.8pt	-	5.2%	-4.6pt	-

- 事業利益率：4.5pt悪化（売上総利益率：3.8pt悪化、販管费率：0.7pt悪化）
- 売上総利益率・事業利益率：3Qに予定の価格改定を前に固定費削減だけではコスト増を賄いきれず、悪化
- 販管費：販売活動量の増加及び物流費の上昇により、前年同期比+162億円（日本+36億円、海外+60億円、為替換算影響+66億円）。販管费率は、海外における人件費、物流費の上昇を主因に0.7pt悪化

LIXIL (1) 日本基準の「営業利益」に相当  
(2) 親会社の所有者に帰属する四半期損益

(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

9

## 2023年3月期 第2四半期 業績概況（新報告セグメント）

全事業増収なるも、急激な円安進行と資材価格の上昇加速影響により減益

新報告 セグメント	(億円)	上期 6か月					第2四半期 3か月				
		22/3期 <sup>(1)</sup>	23/3期	前年同期比			23/3期	前年同期比			
				セグメント 変更による 増減 <sup>(2)</sup>	セグメント 変更を除く 増減			セグメント 変更による 増減 <sup>(2)</sup>	セグメント 変更を除く 増減		
LWT	売上収益	4,205	4,461	+256			2,251	+152			
	事業利益	408	207	-201			74	-97			
LHT	売上収益	2,843	2,932	+89	+40	+49	1,502	+53	+23	+30	
	事業利益	186	60	-126	+3	-129	29	-58	+3	-61	
全社/ 連結調整	売上収益	-86	-67	+19	-6	+25	-30	+14	-2	+17	
	事業利益	-221	-205	+16	+0	+16	-111	+5	-3	+8	
合計	売上収益	6,962	7,327	+364			3,724	+219			
	事業利益	373	62	-311			-8	-150			

為替影響<sup>(3)</sup>：

上期6か月：売上収益 +279億円、事業利益 +28億円

2Q3か月：売上収益 +163億円、事業利益 +14億円

LIXIL

(1) 22/3期 通期・四半期実績については、2022年7月29日公表の「報告セグメントの変更に関するお知らせ」をご参照

(2) 4報告セグメントから2報告セグメントに変更したことに伴う連結調整額を含む

(3) 在外子会社からの損益の為替換算影響額

10

## ご参考：2023年3月期 第2四半期 業績概況（旧報告セグメント）

旧報告セグメントによる2Q（累計・3か月）業績は以下のとおり

旧報告セグメント	(億円)	上期 6か月			第2四半期 3か月	
		22/3期 実績	23/3期 実績	前年同期比	23/3期 実績	前年同期比
LWT	売上収益	4,205	4,461	+256	2,251	+152
	事業利益	408	207	-201	74	-97
LHT	売上収益	2,297	2,347	+49	1,179	+30
	事業利益	182	53	-129	18	-61
LBT	売上収益	406	453	+47	256	+30
	事業利益	11	-2	-13	6	-13
住宅・サービス事業等 (H&S)	売上収益	150	137	-13	69	-9
	事業利益	-7	9	+16	4	+13
全社/連結調整	売上収益	-96	-71	+25	-32	+17
	事業利益	-221	-205	+16	-111	+8
合計	売上収益	6,962	7,327	+364	3,724	+219
	事業利益	373	62	-311	-8	-150

為替影響<sup>(1)</sup>：

上期6か月：売上収益 +279億円、事業利益 +28億円

2Q3か月：売上収益 +163億円、事業利益 +14億円

LIXIL

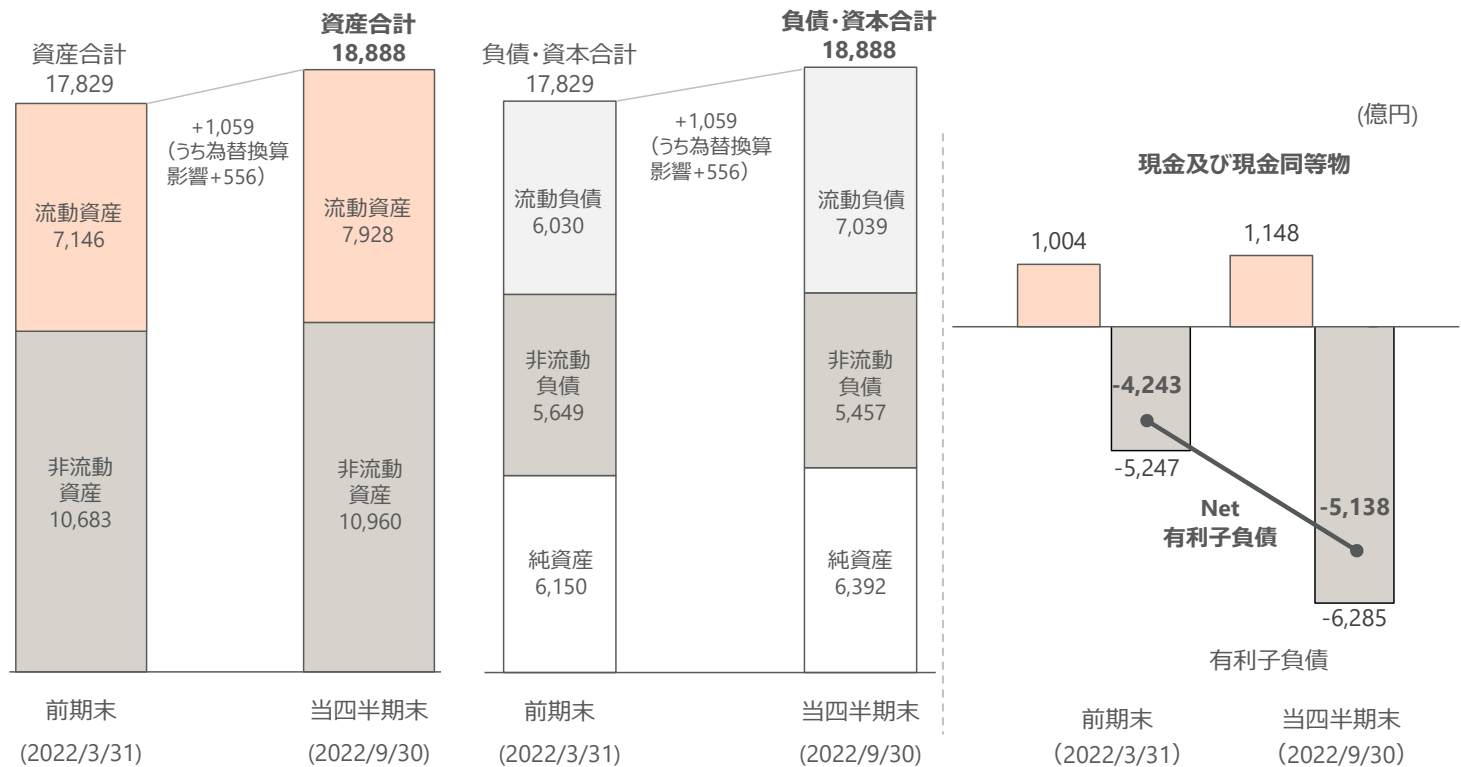
(1) 在外子会社からの損益の為替換算影響額

11



## 連結財政状態

有利子負債は、主に「パートナーシップ構築宣言」に基づく支払期日短縮に関する取り組みの推進<sup>(1)</sup>を目的とした資金調達により増加。自己資本比率は、33.7%

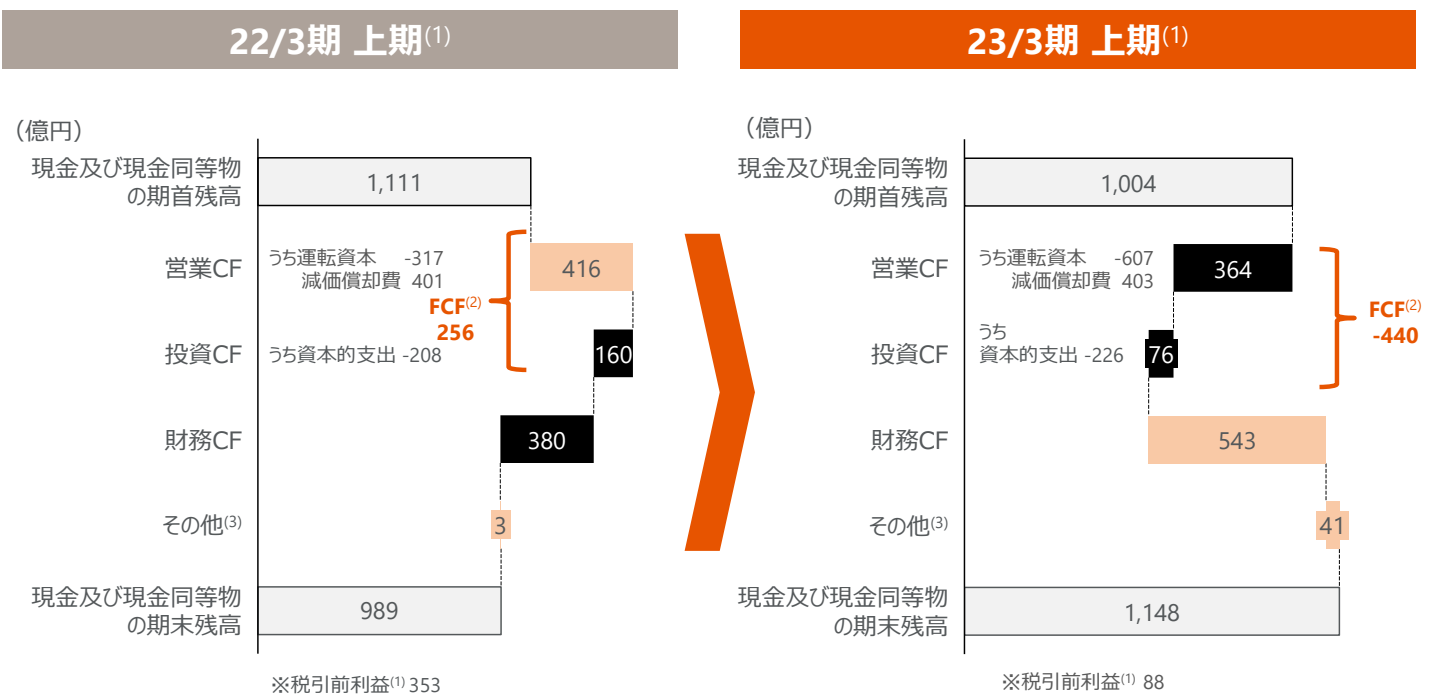


LIXIL (1) 事業・ESG関連トピックス「サプライチェーンにおける責任ある調達と製品の安定供給を推進」p.33をご参照

12

## キャッシュフローの状況及び現金残高

フリーキャッシュフローは、サプライチェーンの寸断への対応としての在庫水準の引き上げ、税引前四半期利益の減少により前年同期比で696億円減少



LIXIL (1) 非継続事業を含む  
(2) フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF+投資CFで計算

(3) 「その他」= 為替換算影響額

13

## 2023年3月期 通期業績見通し

14

## 2023年3月期 業績予想の修正（全社）

(億円)	22/3期 実績	23/3期 修正予想 10/31公表	前年比 増減	23/3期 前回予想 4/28公表	差異
売上収益	14,286	15,600	+1,314	15,200	+400
事業利益	649	420	-229	810	-390
営業利益	695	390	-305	780	-390
税引前利益	673	365	-308	760	-395
税金費用	-167	-105	+62	-242	+137
非継続事業からの損益	-18	-5	+13	-6	+1
非支配持分に帰属する 当期利益	1	5	+4	2	+3
親会社の所有者に帰属する 当期利益	486	250	-236	510	-260
EPS (円)	167.21	86.61 <sup>(1)</sup>	-80.60	175.99 <sup>(2)</sup>	-89.38
ROE (%)	8.3	4.0 <sup>(1)</sup>	-4.3pt	8.2 <sup>(3)</sup>	-4.1pt
ROA (%)	2.8	1.4	-1.4pt	2.9	-1.5pt
ROIC (%)	4.5	2.4	-2.1pt	5.0	-2.6pt
EBITDA <sup>(4)</sup>	1,456	1,220	-236	1,610	-390
Net debt/EBITDA <sup>(4)</sup>	2.9x	3.8x	+0.9x	2.4x	+1.4x
配当 (円/株)	85	90	+5	90	-
連結配当性向	50.8%	103.9% <sup>(1)</sup>	-	51.3%	-

LIXIL

(1) 算定上の基礎となる期中平均株式数については2023年3月期第2四半期累計期間の期中平均株式数を使用

(2) 2023年3月期第1四半期累計期間の期中平均株式数を使用（2022年7月29日公表）

(3) 自己株式取得考慮後（2022年8月2日公表 適時開示をご参照）

(4) EBITDA=事業利益+減価償却費

15



## 2023年3月期 業績予想の修正 - セグメント別 ①

		上期実績		下期計画		通期		
		23/3期実績	前年同期比	23/3期見込み	前年同期比	22/3期実績	23/3期修正予想	前年同期比
		(億円)						
LWT	売上収益	4,461	+256	5,209	+792	8,622	9,670	+1,048
	事業利益	207	-201	373	+15	766	580	-186
LHT	売上収益	2,932	+89	3,138	+139	5,842	6,070	+228
	事業利益	60	-126	255	+124	317	315	-2
全社/ 連結調整	売上収益	-67	+19	-73	+19	-178	-140	-
	事業利益	-205	+16	-270	-57	-434	-475	-
合計	売上収益	7,327	+364	8,273	+950	14,286	15,600	+1,314
	事業利益	62	-311	358	+82	649	420	-229

LIXIL

16

## 2023年3月期 業績予想の修正 - セグメント別

		22/3期実績	23/3期修正予想	増減	%	前回予想 4/28公表 セグメント 変更後数値	差異
LWT <sup>(1)</sup>	売上収益	8,622	9,670	+1,048	+12.2%	9,350	+320
	事業利益	766	580	-186	-24.3%	885	-305
	%	8.9%	6.0%	-2.9pt		9.5%	-3.5pt
LHT <sup>(1)</sup>	売上収益	5,842	6,070	+228	+3.9%	5,990	+80
	事業利益	317	315	-2	-0.5%	375	-60
	%	5.4%	5.2%	-0.2pt		6.3%	-1.1pt
全社/ 連結調整	売上収益	-178	-140	-		-140	0
	事業利益	-434	-475	-		-450	-25
合計	売上収益	14,286	15,600	1,314	+9.2%	15,200	+400
	事業利益	649	420	-229	-35.3%	810	-390
	%	4.5%	2.7%	-1.8pt		5.3%	-2.6pt

LIXIL (1) 国内・海外別の数値は、p. 29に掲載

17

## セグメント別決算の概要



ウォーターテクノロジー事業 (LWT)



ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

18

## ウォーターテクノロジー事業 (LWT)

日本事業・海外事業ともに、増収減益

	(億円)	23/3期 上期実績	前年同期比		23/3期 通期 修正予想
			増減	%	
日本	売上収益	2,016	+18	+0.9%	4,350
	事業利益	108	-39	-26.4%	305
	%	5.4%	-2.0pt	-	7.0%
海外 <sup>(1)</sup>	売上収益	2,445	+238	+10.8%	5,320
	事業利益	98	-162	-62.3%	275
	%	4.0%	-7.8pt	-	5.2%
LWT合計	売上収益	4,461	+256	+6.1%	9,670
	事業利益	207	-201	-49.3%	580
	%	4.6%	-5.1pt	-	6.0%

### 売上収益

- **日本**：価格改定、及び、快適性の向上を目的としたリフォーム売上好調により増収
- **海外<sup>(1)</sup>**：米国と中国における経済の減速影響を受け、現地通貨ベースでは減収。円貨では円安影響により、増収
- **海外売上比率**：前年同期比2.3pt増の54.8%

### 事業利益

- **日本**：価格改定、及び、中高級価格帯・リフォーム商品売上好調も、資材価格の上昇加速により前年同期比、減益
- **海外<sup>(1)</sup>**：エネルギー価格を含むコスト上昇により、前年同期比、減益
- **海外事業利益比率**：前年同期比16.3pt減の47.5%

## ウォーターテクノロジー事業 (LWT) 海外地域別売上収益

地域別：マネジментベース LWT海外合計：制度会計ベース <sup>(1)</sup> (億円)	23/3期 上期実績	前年同期比 現地通貨 ベース	23/3期 通期 修正予想	前年同期比 現地通貨 ベース
アメリカ	763	-8%		+1%
欧州、中東、アフリカ地域	961	+0%		+9%
中国	272	-13%		+1%
アジア太平洋地域	276	+28%		+10%
連結調整・他	173			
<b>LWT海外</b>	<b>2,445</b>	<b>+11%</b>	<b>5,320</b>	<b>+19%</b>

### ■ アメリカ

大幅な金利上昇を背景とした、市場の需要軟化により現地通貨ベースで減収。円貨では増収

- ✓ 住宅市場の減速に伴う需要の軟化と、顧客の在庫調整により、現地通貨ベースで減収
- ✓ 引き続きリフォーム及び直売比率の向上に注力し、利益体質の強化を図る

### ■ 中国

不動産市況の低迷続き減収

- ✓ 建設活動の減速により、現地通貨ベースで減収。円貨では増収。GROHEが寄与しブランドミックスの良化継続

### ■ 欧州、中東、アフリカ地域

サプライチェーンの改善進み、2Qでは現地通貨ベース、円貨共に増収

- ✓ 当期1Qに新規設立した2つの物流センターのオペレーションが開始、サプライチェーン問題の解消に向けて着実に進展
- ✓ 下期において上期の一部製品供給難の解消を図る

### ■ アジア太平洋地域

経済活動の回復及び小売り伸長により増収

- ✓ ベトナム・インド・タイが増収を牽引
- ✓ 全販売チャネルにおいて計画を上回る売上伸長を継続

LIXIL (1) 制度連結会計 為替レート： 23/3期 2Q実績1USD=133.46円、1EUR=138.79円  
マネジментベース為替レート： 23/3期 1USD=115.0円、1EUR=131.1円で比較

20

## ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

海外事業の好調・国内リフォーム需要増加により増収なるも、急激な為替変動と資材価格上昇影響により減益

	(億円)	23/3期 上期実績	前年同期比		23/3期 通期 修正予想
			増減	%	
日本	売上収益	2,800	+39	+1.4%	5,850
	事業利益	56	-129	-69.8%	310
	%	2.0%	-4.7pt	-	5.3%
海外	売上収益	133	+50	+61.3%	220
	事業利益	4	+3	+625.0%	5
	%	2.8%	+2.2pt	-	2.3%
LHT合計 <sup>(1)</sup>	売上収益	2,932	+89	+3.1%	6,070
	事業利益	60	-126	-67.8%	315
	%	2.0%	-4.5pt	-	5.2%

### 売上収益

- 住宅性能・快適性の向上を目的としたリフォーム需要の増加により、前年同期比増収

### 事業利益

- 資材価格の上昇と急激な円安の進行によるコスト増により、前年同期比では減益なるも、上期の価格改定とリフォーム向け高性能サッシ販売の好調が利益率向上に寄与
- 調達コスト上昇の加速に対し、下期の価格改定と固定費の削減により利益率の改善を図る

LIXIL (1) 2023年3月期上期実績 (旧セグメント) LHT 売上収益 2,347億円、事業利益 53億円、事業利益率 2.3%  
LBT 売上収益 453億円、事業利益 -2億円、事業利益率 -0.5%  
H&S 売上収益 137億円、事業利益 9億円、事業利益率 6.3%

21

## ▶ (ご参考) データ集

22

## ▶ 商品・サービス別売上状況

住宅性能・快適性の向上を目的とした商品需要、及び、中高級品価格帯を中心として好調に推移

セグメント	主要商品名	(億円)				(%)					
		22/3期 通期実績	22/3期 上期実績	23/3期 上期実績	前年 同期比 (%)	前年同期比				23/3期	
						22/3期				1Q	2Q
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
LWT	衛生機器**	1,047	496	514	+3.6%	+0.9	-3.9	-0.1	+0.2	+0.4	+6.7
	バスルーム	859	426	430	+0.8%	+10.7	-2.9	-3.3	-8.2	-2.4	+4.0
	洗面化粧台**	391	185	186	+0.4%	+13.7	+6.6	+2.9	+0.6	+1.8	-1.0
	キッチン	1,019	498	493	-1.1%	+9.5	+4.8	+1.8	-7.5	+0.3	-2.5
	タイル	328	157	152	-2.7%	-1.6	+0.2	+0.6	-2.2	-4.2	-1.2
LHT	住宅サッシ	1,642	827	813	-1.7%	-2.0	-4.3	-6.6	-3.9	-1.2	-2.1
	エクステリア	1,014	505	513	+1.5%	+3.1	+1.2	+0.7	+3.0	+0.0	+3.2
	インテリア建材	623	300	313	+4.6%	-3.1	+0.5	-0.7	+2.4	+1.4	+7.8
	その他LHT	409	193	216	+12.3%	-36.5	-32.9	-30.3	+14.7	+17.0	+8.1
	ビルサッシ <sup>(1)</sup>	893	406	453	+11.5%	-15.4	-9.4	+2.3	+4.6	+9.3	+13.3
	住宅・サービス事業 <sup>(1)</sup>	303	150	137	-8.5%	-36.5	-32.9	-44.7	-21.7	-4.8	-11.9
	海外売上 <sup>(1)(2)</sup>	4,523	2,289	2,577	+12.6%	+49.6	+6.2	+13.0	+10.0	+11.3	+13.9
その他・連結調整等	1,236	531	529	-							
<b>売上合計</b>		14,286	6,962	7,327	+5.2%	+11.4	+0.1	+0.8	+3.3	+4.2	+6.3
(ご参考) **「衛生機器」「洗面化粧台」に含まれる水栓金具の売上状況											
LWT	水栓金具	247	114	115	+1.5%	+17.9	+13.6	+16.1	+7.5	-0.3	+3.4

## 日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

リフォーム商材売上構成比0.9pt上昇。住宅性能・快適性の向上を目的としたリフォーム需要は引き続き堅調

(億円)	上期 6ヵ月				第2四半期 3ヵ月	
	22/3期実績 <sup>(1)</sup>	23/3期実績	増減	前年同期比	23/3期実績	前年同期比
リフォーム商材売上	1,530	1,597	+67	+4%	816	+5%
LWT-J				+2%		+4%
LHT				+7%		+7%
ビル事業除く				+4%		+6%
ビル事業				+23%		+8%
リフォーム売上構成比	40%	41%	+0.9pt		40%	+1.0pt

### セグメント別リフォーム売上構成比

### リフォーム加盟店の推移

	22/3期 上期	23/3期 上期	増減
LWT	47%	48%	+0.8pt
LHT	34% <sup>(1)</sup>	35%	+1.0pt
国内・計	40%	41%	+0.9pt

店	21年 3月	22年 3月	22年 9月
LIXILリフォームショップ (FC)	540	536	539
LIXILリフォームネット (ボランティア)	11,373	11,264	11,262
リクシルPATTOリフォーム サービスショップ	3,817	3,804	3,817

LIXIL (1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正

24

## 海外 - ウォーター事業における海外事業の成長促進の進捗

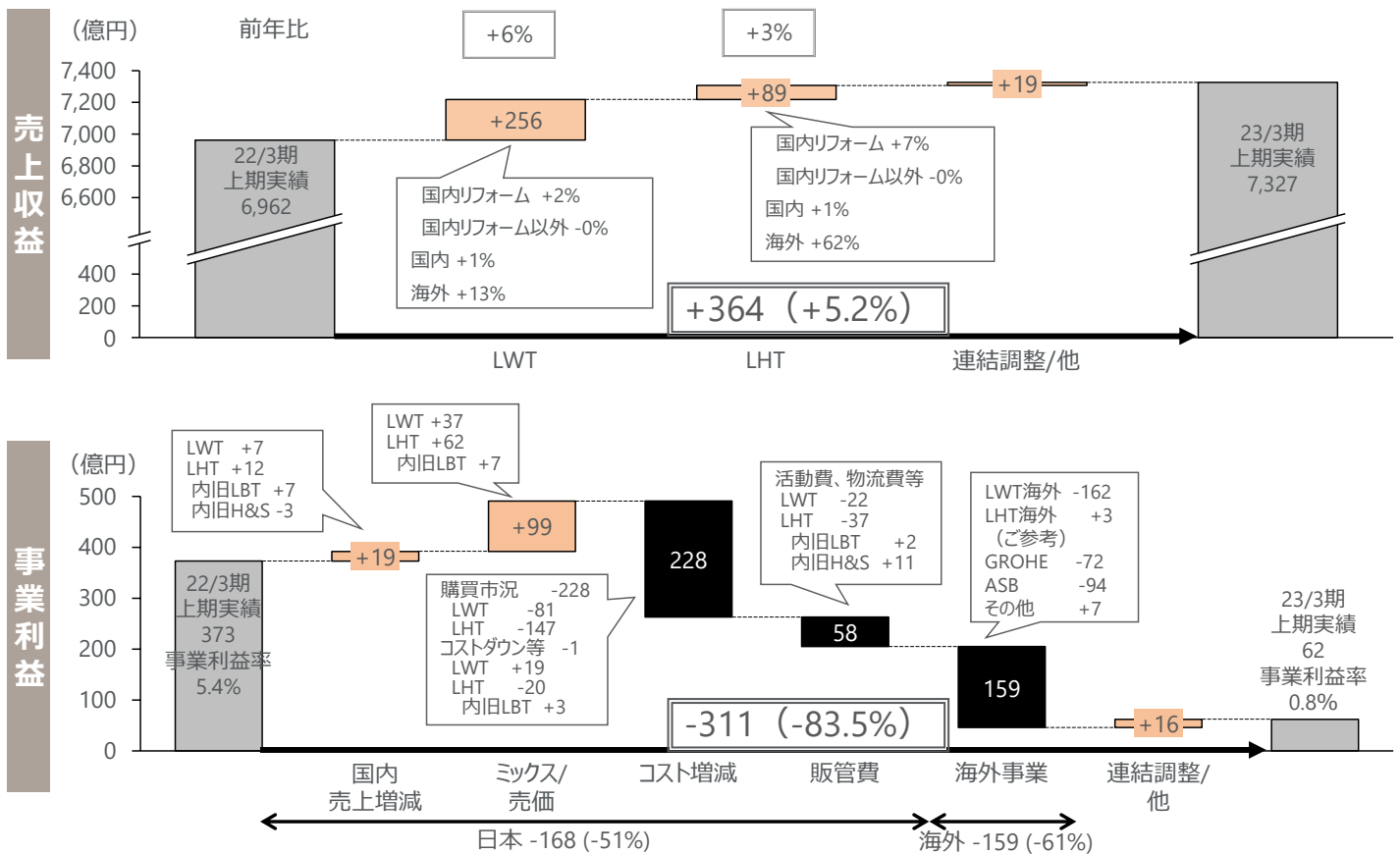
ブランド・ポートフォリオやグローバルな生産体制、先進技術を活かすことで、ポートフォリオ・ギャップを埋め、海外事業の成長を促進<sup>(1)</sup>

	23/3期 上期 6ヵ月					23/3期 第2四半期 3ヵ月				
	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域
<b>売上構成比</b>										
水栓金具 (浴室)	51%	13%	67%	52%	40%	45%	13%	71%	52%	38%
衛生陶器等	32%	53%	19%	38%	56%	36%	54%	16%	37%	58%
水栓金具 (キッチン)	9%	4%	13%	5%	2%	8%	4%	13%	7%	2%
浴槽・シャワーシステム	5%	20%	0%	1%	1%	7%	19%	0%	0%	1%
その他	3%	10%	0%	4%	1%	4%	10%	0%	4%	1%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
<b>売上伸び率</b>										
水栓金具 (浴室)	+2%	-7%	+3%	-9%	+40%	+6%	-12%	+11%	-17%	+37%
衛生陶器等	-5%	+2%	-6%	-26%	+39%	-11%	-15%	-20%	-30%	+52%
水栓金具 (キッチン)	-11%	-2%	-8%	-19%	+13%	-8%	-28%	-2%	-6%	+6%
浴槽・シャワーシステム	-1%	-44%	-7%	-35%	+97%	-6%	-6%	-1%	-54%	+82%

LIXIL (1) LIXIL統合報告書2022 p.27-28「LIXIL Playbookの優先課題『ウォーター事業における海外事業の成長促進』」  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym26/119886/00.pdf#page=28](https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir_material_for_fiscal_ym26/119886/00.pdf#page=28)

25

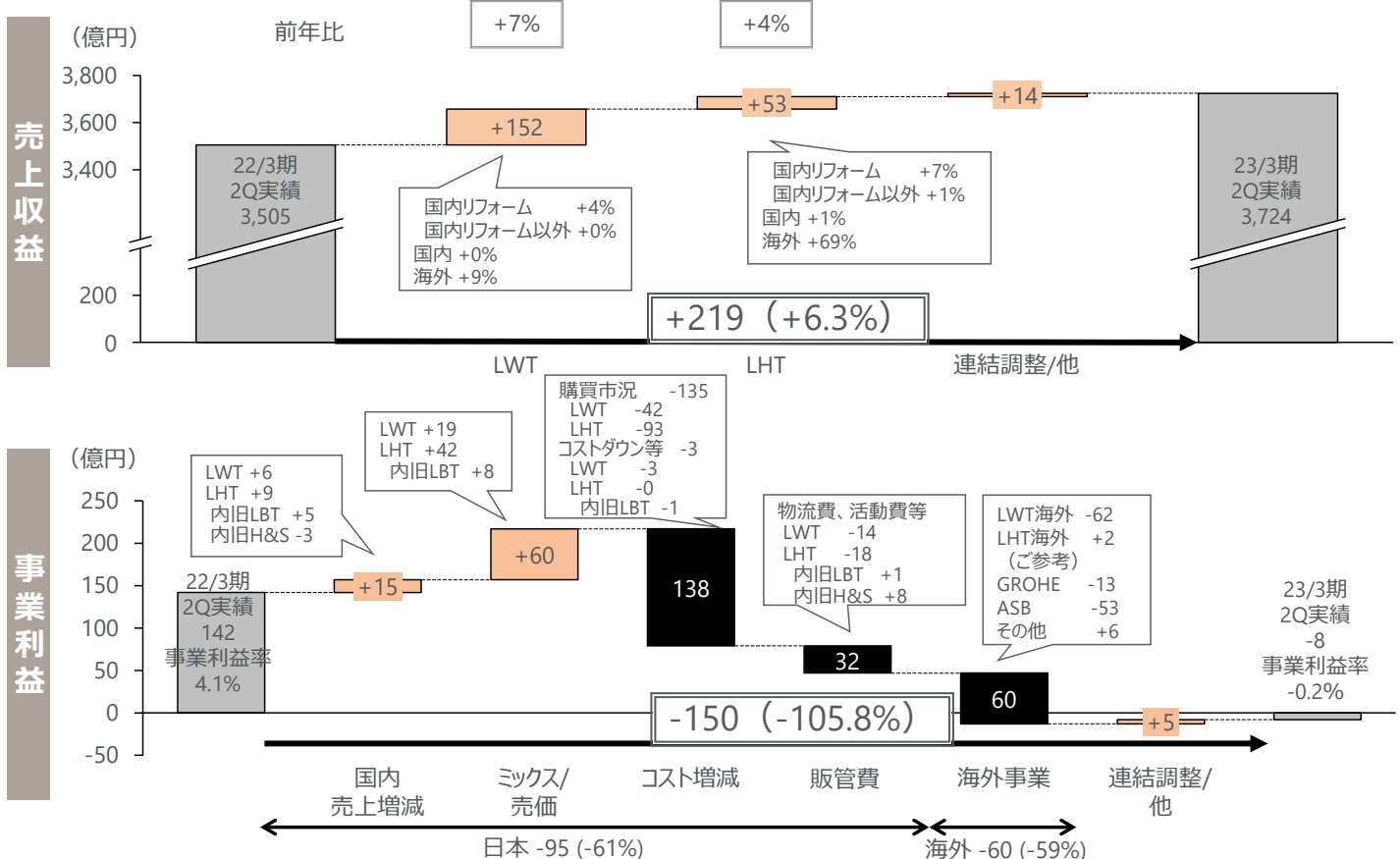
## 2023年3月期 上期 (6ヵ月) 売上収益・事業利益の増減 (前年同期差)



LIXIL

26

## 2023年3月期 第2四半期 (3ヵ月) 売上収益・事業利益の増減 (前年同期差)



LIXIL

27



## 2023年3月期 第2四半期 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

(億円)	22/3期	23/3期	増減
	上期実績	上期実績	
売却目的で保有していた資産の処分益	24	53	+28
その他	24	27	+3
<b>その他の収益</b>	<b>48</b>	<b>79</b>	<b>+31</b>
有形固定資産処分損	8	9	+1
減損損失	14	7	-7
その他	28	25	-3
<b>その他の費用</b>	<b>49</b>	<b>41</b>	<b>-9</b>
受取利息	7	5	-2
受取配当金	10	9	-1
デリバティブ評価益	9	2	-7 (A)
為替差益	-	7	+7
その他	0	2	+2
<b>金融収益</b>	<b>26</b>	<b>25</b>	<b>-2</b>
支払利息	23	24	+1
為替差損	14	-	-14 (A)
その他	1	3	+2
<b>金融費用</b>	<b>37</b>	<b>26</b>	<b>-11</b>

(A)「デリバティブ評価益」は「為替差損」と両建てで表示されています。

	22/3期 上期実績
デリバティブ 評価益	9
為替差損	-14
Net	-4 損

LIXIL

28

## セグメント別 実績及び通期業績予想

	(億円)	22/3期 上期			23/3期 上期				23/3期 通期修正予想 (10/31公表)			
		国内	海外	計	国内	海外	計	前年 同期比%	国内	海外	計	前期比 %
LWT	売上収益	1,998	2,206	4,205	2,016	2,445	4,461	+6.1%	4,350	5,320	9,670	+12.2%
	事業利益	147	261	408	108	98	207	-49.3%	305	275	580	-24.3%
	%	7.4%	11.8%	9.7%	5.4%	4.0%	4.6%	-5.1pt	7.0%	5.2%	6.0%	-2.9pt
LHT <sup>(1)</sup>	売上収益	2,761	82	2,843	2,800	133	2,932	+3.1%	5,850	220	6,070	+3.9%
	事業利益	186	1	186	56	4	60	-67.8%	310	5	315	-0.5%
	%	6.7%	0.6%	6.5%	2.0%	2.8%	2.0%	-4.5pt	5.3%	2.3%	5.2%	-0.2pt
連結調整 ・他 <sup>(2)</sup>	売上収益			-86			-67	-			-140	-
	事業利益			-221			-205	-			-475	-
LIXIL <sup>(2)</sup>	売上収益	4,759	2,289	6,962	4,816	2,577	7,327	+5.2%	10,200	5,540	15,600	+9.2%
	事業利益	333	261	373	165	102	62	-83.5%	615	280	420	-35.3%
	%	7.0%	11.4%	5.4%	3.4%	4.0%	0.8%	-4.5pt	6.0%	5.1%	2.7%	-1.8pt

LIXIL

(1) LHTのうち、複数の事業をグローバルに行っている会社業績の国内と海外の内訳を1Qから変更しており、それに伴い前年実績も更新  
(2) 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額

29

## 主要海外子会社

ASB (ASD Holdings)	22/3期 上期 実績	23/3期 上期 実績	前年同期比	(百万米ドル)
為替レート(期中平均レート)	110.18	133.46	-	
売上収益	718	663	-8%	
事業利益	58	-23	-	
事業利益率	8%	-3%	-	

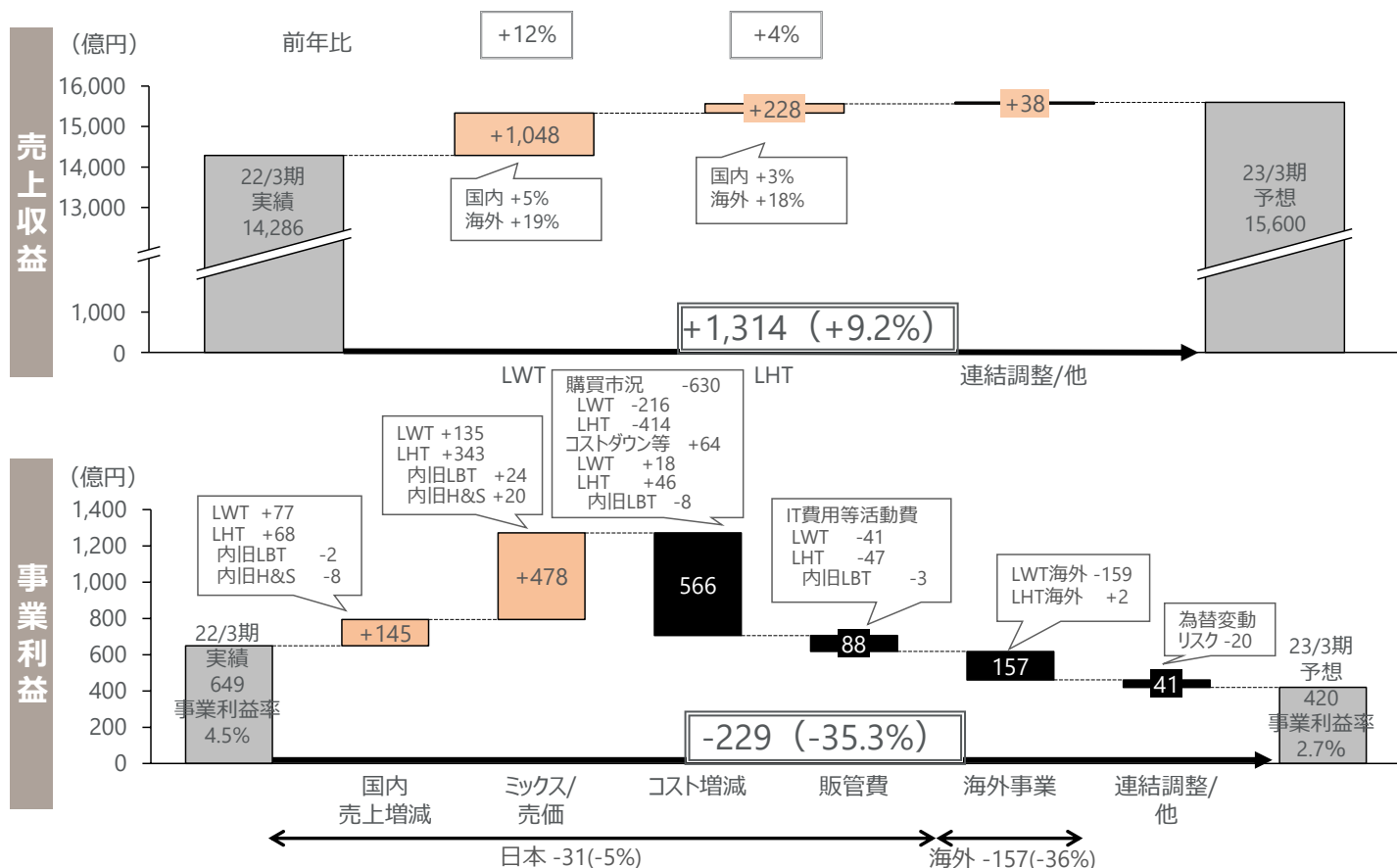
決算期	22/3期 期末残高	23/3期 上期		期末残高
		償却額	その他 <sup>(1)</sup>	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	122.39	133.46	-	144.81
のれん <sup>(2)</sup>	227	-	0	227
無形資産 <sup>(2)</sup>	200	-3	0	197

Grohe Group (グローエ)	22/3期 上期 実績	23/3期 上期 実績	前年同期比	(百万ユーロ)
為替レート(期中平均レート)	130.97	138.79	-	
売上収益	886	907	+2%	
事業利益	145	85	-42%	
事業利益率	16%	9%	-7.0pt	

決算期	22/3期 期末残高	23/3期 上期		期末残高
		償却額	その他 <sup>(1)</sup>	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	136.70	138.79	-	142.32
のれん <sup>(2)</sup>	1,203	-	21	1,224
無形資産 <sup>(2)</sup>	1,417	-6	0	1,412

LIXIL (1) 為替換算差額など  
 (2) のれん及びその他の無形資産とその評価については、2022年3月期 有価証券報告書 p.133-135「14. のれん及びその他の無形資産」に記載 30  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/youho\\_pdf/S100OB6V/00.pdf#page=133](https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/youho_pdf/S100OB6V/00.pdf#page=133)

## 2023年3月期 修正予想 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



## ▶ (ご参考) 事業・ESG関連トピックス

32

## ▶ 事業・ESG関連トピックス

### 機動的なサプライチェーン基盤の整備

#### アメリカ地域に新たな ディストリビューション・センターを設立



- LIXIL Home Services (LHS) が提供する住宅内の施工・サービス事業の成長を支えるとともに、アメリカ地域のサプライチェーンの拡充に向け、テキサスにディストリビューション・センターを新設
- アメリカ地域で展開するLHS事業は、エンドユーザー向けのリフォーム市場でイノベーションの促進と成長を継続
- LIXILは、製品の安定供給を実現するため、海外市場における機動的なサプライチェーン基盤の整備を推進

### サプライチェーンにおける責任ある調達と 製品の安定供給を推進

#### 「パートナーシップ構築宣言」を公表<sup>(1)(2)</sup>



- LIXILは、コーポレート・レスポンスビリティ活動の基盤として、サプライチェーンマネジメントを重要課題の一つに位置付け、サプライチェーン全体を通じて、責任ある調達と製品の安定供給を推進
- LIXIL国内では、内閣府や中小企業庁などが推進する「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」の趣旨（親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行の遵守）に賛同し、「パートナーシップ構築宣言」を策定・公表
- 宣言内容の重点項目として、特に下請事業者さまに対する手形等の支払条件については2023年3月期中に支払期日の短縮に向けて着手予定

## 事業・ESG関連トピックス

### イノベーションを通じた新たな事業機会の創出と環境負荷低減

#### 廃プラスチックと廃木材を融合した新しい循環型素材「レビア」<sup>(1)(2)</sup>を開発



- 従来再資源化が困難とされてきた複合プラスチックや海洋プラスチックを含む、ほぼすべての種類の廃プラスチックと、建築物の解体や補修などから生じる廃木材を融合した、循環型素材「レビア」を開発
- ステークホルダーの皆さまとの連携体制を強化し、調達から生産、販売、施工、回収に至るエコシステムを構築することで、新規事業の成長と持続可能な循環型社会の実現に貢献
- 新規事業の第1弾製品として舗装材「レビアペイブ」<sup>(3)</sup>を2023年1月より国内で販売開始

LIXIL

- (1) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2022101802>  
 (2) スペシャルサイト <https://www.lixil.co.jp/lineup/s/revia/>  
 (3) 製品サイト <https://www.lixil.co.jp/lineup/public/reviapave/>

### 欧州の建設業界におけるグリーン トランスフォーメーション (GX)<sup>(4)</sup>を促進

#### 欧州地域においてEPD (Environmental Product Declaration) 認証を取得



- GROHE製品の777 SKUが欧州におけるEPD認証を取得。EPDは、透明性が高く、比較可能な形で製品のライフサイクルでの環境影響 (CO<sub>2</sub>排出量等) を示す
- 欧州では、建物のCO<sub>2</sub>排出量を算定し、開示する規制の強化が進行。LIXILは、2023年3月期中にEPDをGROHE製品の1,000SKUに拡大予定とし、引き続きサステナビリティへの取り組みの強化を推進

- (4) 温室効果ガスの排出削減と経済成長を実現するための行動

34

## 外部評価

**デジタルトランスフォーメーション(DX)銘柄2022**  
 デジタル化の実践、DXの社内環境整備、IT環境の整備など幅広い取り組みが評価され、DX銘柄に選定 (2022年6月)



**FTSE4Good Index Series**  
**FTSE Blossom Japan Index**  
 FTSE Russell社の「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定 (6年連続、2022年6月)



**Forbes JAPAN ダイバーシティ度ランキング**  
 組織文化としてインクルージョンを重視し、2030年までの全社D&I戦略目標達成に向けた取り組みが評価され、東証プライム上場企業1,839社中、ダイバーシティ度ランキング1位受賞 (2022年10月)

LIXIL

**MSCI日本株女性活躍指数(WIN)**  
 MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に選定 (6年連続、2022年6月)

**2022 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)**

Disclaimer  
 The inclusion of LIXIL Corporation in any MSCI index, and the use of MSCI logos, trademarks, service marks or index names herein, do not constitute a sponsorship, endorsement or promotion of LIXIL Corporation by MSCI or any of its affiliates. The MSCI indexes are the exclusive property of MSCI. MSCI and the MSCI index names and logos are trademarks or service marks of MSCI or its affiliates.

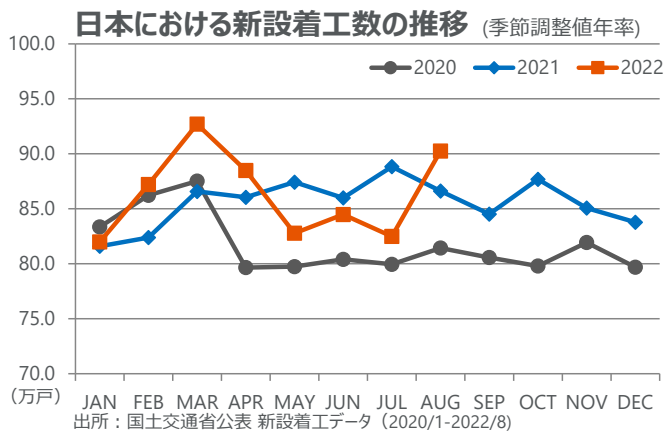
**MSCI ESG Ratings**  
 MSCI社の「ESG Ratings」がAからAAに、2年連続でランクアップ (2022年5月)



Disclaimer  
 The use by LIXIL Corporation of any MSCI ESG Research LLC or its affiliates ("MSCI") data, and the use of MSCI logos, trademarks, service marks or index names herein, do not constitute a sponsorship, endorsement, recommendation, or promotion of LIXIL Corporation by MSCI. MSCI services and data are the property of MSCI or its information providers, and are provided 'as-is' and without warranty. MSCI names and logos are trademarks or service marks of MSCI.

35

## 事業環境



### 新築着工水準 (対前年比)

- 2022/1-6：+1.6%
- 2022/1-8：+1.0%

	2022年1月-8月 (8ヵ月)		2022年4月-8月 (5ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	569,200	+1.0%	368,776	-1.0%
持家(1)	167,862	-9.3%	110,228	-10.4%
貸家	225,686	+6.8%	146,715	+3.6%
分譲マンション	74,305	+5.7%	46,889	+5.8%
分譲戸建(2)	96,884	+5.2%	61,852	+3.0%
戸建合計(1)+(2)	264,746	-4.5%	172,080	-6.0%



為替 (期中平均レート)	21/3期 実績	22/3期 実績	23/3期 計画前提
米ドル	106.17円	112.86円	115.0円
ユーロ	123.73円	131.01円	131.1円

原材料価格の 実績	21/3期 実績	22/3期 実績	23/3期 計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	19.9万円/トン	30.5万円/トン	36.0万円/トン
銅価格	60.3万円/トン	86.8万円/トン	86.2万円/トン

LIXIL

LIXIL

この資料には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。  
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により  
当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。